

2018年5月31日

小学生向け学習まんが「たすけあいのひみつ」を 全国の小学校および図書館に寄贈

全労済（全国労働者共済生活協同組合連合会 理事長：中世古 廣司）では、創立60周年を記念した取り組みとして、株式会社学研プラス（以下、学研）の小学生向け学習まんが『まんががよくわかるシリーズ』の最新刊「たすけあいのひみつ」を学研と協同企画・制作しました。制作した冊子（25,500冊）は学研を通じて全国の小学校（特別支援学校含む）および公立図書館に寄贈されます。



※イメージ

■企画意図

全労済では、「子どもの健全育成」の活動を社会貢献活動の重点分野として位置付けています。

本書のテーマである“たすけあうこと”の素晴らしさを子どもたちに認知・理解してもらい、しっかり未来へと伝達していくことは、全労済の理念「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」の実現につながる活動と考え、制作しました。

一人一人の力は小さくても、“たすけあうこと”で大きな力になる——読まれた方の心に、たすけあいの気持ちが芽生え、育っていくことでそれぞれの人生だけでなく、社会全体がより豊かで活力あるものになりますように。そのための一助として学校やご家庭でご活用いただければ幸いです。

■学研『まんがでよくわかるシリーズ』について

教育現場の副教材として公益社団法人日本PTA全国協議会の推薦を受けており、約20年にわたり、子どもたちに愛読されています。

書店での一般販売はありませんが、学研キッズネット「まんがひみつ文庫」のウェブサイト内でも無料で閲覧可能ですので、ぜひご覧ください。

<https://kids.gakken.co.jp/himitsu/138>